

会派代表質疑

3月4日の本会議で、市長が提案した予算案に対して、各会派が代表質疑を行いました。主な質疑の要旨を発言順に掲載しています。

わが会派は、 予算のここをチェック！



録画中継はこちら⇒

立憲民主・市民の会



安藤 修三



生徒が自ら考え、より良い学校に

生きる力を育む教育を

問 社会で生きていく力を身に付けるため、学校における生徒会活動などの特別活動等の中で、子どもの考えを表現するなどの仕組みづくりが必要と考えるがどうか。

答 多くの中学校では、子どもの主体的な意見をいかし、服装等の校則を見直した。今後も、学校の環境等を自分事として捉え、課題を解決し、より良く生きていこうとする取り組みの充実を図っていく。

国保制度見直しの働き掛けを

問 国保税は、6年度も加入者の負担増である。物価高で家計が圧迫される中、国等に制度改正への一層の働き掛けが必要ではないか。

答 これまでも国等に財政支援等を要望してきた。今後、加入者の負担軽減のため、さらなる要望を行っていく。

八王子市議会公明党



中島 正寿



切れ目のない子育て支援の強化を

大型投資事業への考えは

問 大型投資事業となる施設等の整備は、どのような考えで進めていくのか。

答 大型投資事業は、社会状況を踏まえた見直しや対応策を検討し、毎年度、優先順位を付けて進めている。現在の前期経営計画に基づく基本取組を進め、後期経営計画を策定する8年度に方向性を確認していく。

八王子版ネウボラの強化は

問 八王子版ネウボラ^{※1}を強化していく考えは。

答 4月に、東浅川保健福祉センター内へ地域子ども家庭支援センター東浅川を設置するなど、母子保健と児童福祉の一体的な支援を進めていく。今後、一体的な相談支援を行う「こども家庭センター」設置を目指すとともに、八王子版ネウボラを強化していく。

日本共産党 八王子市議会議員団



望月 翔平



フレイル予防のためにも補聴器を

補聴器の購入費助成を

問 聞こえづらさは心身の健康に影響を及ぼすものであり、補聴器を必要とする高齢者が、早期に装用することは重要と考える。補聴器の購入費助成についての見解は。

答 補聴器で聞こえづらさを改善することは、社会参加を促進し、フレイル^{※2}予防にもつながると認識しており、介護予防の取り組みの中で、検討を進めていく。

旧統一教会との断絶を

問 市民の生命と財産を守るという市としての強い決意を示している中、旧統一教会とかかわりを断つよう、徹底してもらいたいがどうか。

答 当該団体の活動を市が評価・推奨しているような誤解や不安を市民に与えることがないように、引き続き対応していく。

自民党新国会



馬場 貴大



ワニの口のような歳入と歳出の差

6年度予算編成への認識は

問 今後、人口減少・少子高齢化に伴う税収減や支出増で、歳入と歳出のギャップは、ワニの口のように広がっていくことが見込まれる中で編成した6年度予算への認識は。

答 扶助費等の経費が増加する中、大型事業等に対応するとともに、市民生活に直結する取り組みを予算化した。財政を取り巻く厳しさを改めて実感した予算編成であった。

未来に向けて改革の英断を

問 未来の八王子に向け、行財政改革を進めていくためには、時に改革に対する英断も必要と考えるがどうか。

答 経営資源の確保に向けた厳しい現状を踏まえ、まずは継続的に取り組んでいる行財政改革を推進するとともに、ワニの口も意識し、必要に応じて経営判断を行っていく。

※1フィンランドにおいて、妊娠期から就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で設置されている身近な地域の相談拠点

※2健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能などの低下が見られる状態